



# 学校だより

平成 30 年度 7 月号  
文教大学付属小学校  
<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



## 人を笑顔にする力

～1 学期末を迎えて子どもたちの姿に想う～

校長 島野 歩

梅雨明けを思わせる太陽の日差しが戻ってきました。ある朝 4 年生の女の子が、かわいい紫陽花の花びらを浮かべて職員室にもってきててくれました。「こんなに綺麗なのに道に落ちていたから可愛そうで・・・」素敵な気持ち！子どもの純粋な心が花びらに映ったかのように美しく浮かぶ紫陽花でした。



早いもので新学期を迎えて 3 ヶ月が過ぎ、いよいよ 1 学期のまとめの時期を迎えました。遠足、北アルプス自然教室、八ヶ岳自然教室、運動会等、307 名の子どもたち、一人ひとりが大きな行事を経るごとに成長していく様子を頼もしく感じています。

個を響かせ合いながら成長していく子どもたちを見て、思い出したテレビ広告があります。

+

-

×

÷

「+」は、たすけあう  
「×」は、声をかける  
それは、人を笑顔にする算数

「-」は、ひきうける  
「÷」は、わけあう  
思いやり算。

困っている友達がいれば助け合い、損な場面は笑顔で引き受け、よく声をかけ合い、喜びも苦しみも分かち合う、おもいやり算。

人と人との間には、「人を笑顔にする算数」・・・「人を笑顔にする力」が備わっていることを、子どもたちの姿をみて日々感じます。

子どもたち一人一人の「人を笑顔にする力」を今後も育ててまいります。

全学年が水泳に取り組みました！

1 年生 2 年生は屋上のプールで  
活き活き！宝ひろいは、  
お任せあれ！



3 年生以上の学年は学校のお向かいにある SAT スイミングスクールへ！泳力に合わせた集中指導！今年も力をつけました。

# 劇団四季 俳優・スタッフによる 「美しい日本語の話し方教室」開催！

6月26日(火)、5. 6年生を対象に、劇団四季の俳優・スタッフの方による「美しい日本語の話し方教室」を開催いたしました。



話し言葉としての日本語を、明快に美しく話すためには……？

劇団四季の60年を越える歴史の中で培われてきた独自の方法論「母音法」を通して、分かりやすくかつ楽しくご教授いただきました。

授業の後半では、オリジナルミュージカルのテーマ曲を使って、歌詞を正しく伝える方法とともに「思いやり」や「友情」の大切さについても考えました。

「母音法」を教わった後の、子どもたちの話し方の美しさ・明快さは、歴然！ すばらしいです。

加えて、歌声の響き方の見事なこと……地下の多目的室での歌声が、3階まで美しく響きわたったほどです。日頃から美しい日本語を話していくことの大切さを考えさせられたひとときでした。



- 【授業内容】**
- 「書き方」「読み方」とは異なる「話し方」
    - ・日本語における母音の重要性
    - ・音の分離
  - 「友達はいいもんだ」の歌唱を通した実習
    - ・相手に思いを伝える
    - ・はっきりとした言葉で歌う練習